

「三木市地域公共交通網形成計画」に基づく施策の取組状況について

基本方針	施策		計画期間					参考		
	具体的な取組		R元(実績及び取組状況等)					H30		
			R元	R2	R3	R4	R5			
方針1 鉄道及び幹線バスを軸とする公共交通網の形成	1-① 粟生線の維持・存続に向けた活性化及び利用促進									
	1	(1) 神戸電鉄粟生線活性化協議会への参画及び粟生線活性化策・利用促進策の検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> 神戸電鉄粟生線活性化協議会への参画 神戸電鉄福祉パスの交付（交付枚数3,412枚） 北播磨総合医療センターへの通院等に係る神戸電鉄利用補助（228件） 神戸電鉄通勤定期運賃助成（15件） （※実績はいずれもR元.7.31時点） 						<ul style="list-style-type: none"> 神戸電鉄粟生線活性化協議会への参画 神戸電鉄福祉パスの交付（交付枚数3,373枚） 北播磨総合医療センターへの通院等に係る神戸電鉄利用補助（607件） 神戸電鉄通勤定期運賃助成（40件） 	
	2	(2) 粟生線とバスの接続改善に向けた利用促進策の検討・実施	神姫ゾーンバスの独自路線「ネスタリゾート神戸線」において、令和元年7月ダイヤ改正により、乗継時間を短縮							
	3	(3) 交通結節点の強化による利便性の向上								
	4	(4) 三木駅の再生	三木駅再生に向け、駅前広場の用地交渉、詳細設計等を実施						三木駅再生に向け、用地交渉等を実施	
	5	(5) 駅の空きスペース及び駅前空間等の活用による沿線のにぎわい創出								
	6	(6) 鉄道施設の更新・改良による安全性の確保及び輸送サービスの向上	国、県、神戸市、三木市、小野市及び三田市による協調補助	補助額33百万円（三木市予算額）						補助額919百万円 （国619百万円、県150百万円、神戸市64百万円、三木市23百万円、小野市16百万円、三田市47百万円）
			車両更新に係る独自補助	補助額22百万円（三木市補助額） ※車両更新（1編成分）に係る神戸電鉄負担分の一部を支援						補助額22百万円 ※車両更新（1編成分）に係る神戸電鉄負担分の一部を支援
	7	(7) 粟生線の維持・存続のための適正な運行形態の検討							-	
	1-② 接続可能なバス路線網の形成									
	8	(1) 幹線バスを軸とした、将来にわたり持続可能なバス路線網の形成	令和元年10月見直し予定							
	9	(2) 一律運賃制による利用促進	一律運賃制を継続実施						一律運賃制を継続実施	
	10	(3) 利用しやすい環境整備による利便性の向上								
	11	(4) 「デマンド型交通」などの新たな交通手段の導入の検討	令和元年9月に「吉川地域におけるデマンド型交通の導入検討のためのアンケート調査」を実施予定						市民の移動ニーズや人口、居住地の分布状況などから、まずは吉川地域におけるデマンド型交通の導入検討を決定	
12	(5) 自動運転システムの導入可能性の検討	<ul style="list-style-type: none"> 郊外型住宅団地ライフスタイル研究会自動運転検討部会に参画 都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会ニュータウン分科会（国土交通省）に参画 						民間事業者が実施主体となり、緑が丘地域において自動運転実証調査を実施（H31.2.16～H31.2.22）		

基本方針	施策					計画期間					参考		
	具体的な取組		R元(実績及び取組状況等)					R元 R2 R3 R4 R5					H30
方針2 まちづくりと連携した便利な公共交通網の形成	2-① 交通と「まちづくり」との協調・連携												
	13	(1) 駅周辺における定住促進											
	14	(2) 市内企業の振興											
	15	(3) 計画的な道路整備											
	16	(4) 住宅や企業立地を支える公共交通網の充実											
	17	(5) 交通結節点の強化や駅前活性化											
	2-② 交通と「福祉」との協調・連携												
	18	(1) 「地域ふれあいバス」の運行継続及び未導入地域への導入検討											
	19	(2) 高齢者、障がい者のバス等の運賃助成											
	20	(3) 運転免許証の自主返納者（高齢者）への支援											
	2-③ 交通と「教育」との協調・連携												
	21	(1) 高校生の通学利用の多い路線バスの確保・維持											
	22	(2) 公共交通を利用した教育事業の推進											
	23	(3) 園児、小中学生に対するモビリティ・マネジメントの推進											
	24	(4) スクールバスの路線バス化の検討											
	2-④ 交通と「観光」との協調・連携												
	25	(1) 観光地を経由するバスルートの検討											
	26	(2) 観光施設や観光イベントと連携した企画乗車券等の発行											
	27	(3) 季節や地域らしさを感じられる交流イベントの開催											
	28	(4) 観光ガイドの作成											

基本方針	施策		計画期間					参考	
	具体的な取組		R元(実績及び取組状況等)					H30	
			R元	R2	R3	R4	R5		
方針3 公共交通の活性化及び利用促進	3-① 市民に対するモビリティ・マネジメントの実施								
	29	(1)市民に対する公共交通利用への協力要請	地域公共交通に関する「出前講座」等の開催 (実施対象者数 221人、R元. 8. 26時点)					→	地域公共交通に関する「出前講座」等の開催 (実施対象者数 245人)
	30	(2)転入者に対する公共交通利用の協力要請	・転入者に対し「ニコパカード」に関する説明を実施 ・本年度に作成する公共交通総合時刻表を市民課の窓口等において転入者に配布予定					→	転入者に対し「ニコパカード」に関する説明を実施
	31	(3)地域拠点等における公共交通の利用啓発	各地域に係るバス時刻表を各市立公民館等において設置					→	各地域に係るバス時刻表を各市立公民館等において設置
	32	(4)インターネット等を活用した公共交通の利用啓発	バス時刻表を市ホームページに掲出					→	バス時刻表を市ホームページに掲出
	33	(5)公共交通時刻表の作成による公共交通の利用啓発	地域公共交通調査事業(計画推進事業、事業費285万円)に係る国庫補助金(交付決定額57万円)を活用し、公共交通総合時刻表を作成予定					→	
	3-② 企業等に対するモビリティ・マネジメントの実施								
	34	(1)企業、事業所等に対する公共交通利用への協力要請	三木工場公園へのアクセスバスの充実検討のため、同公園内の入居企業に対し、アンケート調査を実施(H31. 4. 17~R元. 5. 24)(再掲) ※アンケート調査票に「一律運賃制」に関する説明文を掲載し、周知・PRを実施					→	
	35	(2)出張時等におけるパークアンドライド駐車場の活用に向けた普及啓発	本年10月下旬に発行予定の「粟生線&バス乗継ガイド」にパークアンドライド駐車場の利用方法に関する説明文を掲載し、周知・PRを実施					→	「粟生線&バス乗継ガイド」にパークアンドライド駐車場の利用方法に関する説明文を掲載し、周知・PRを実施
	36	(3)市職員等による公共交通の率先利用	・ノーマイカーデーの実施を継続(実施率12.2%(R元. 4月~8月)) ・市職員による出張回数券の利用を継続(269枚(R元. 4月~6月))					→	・ノーマイカーデーの実施を継続(実施率11.7%) ・市職員による出張回数券の利用を継続(871枚)
	3-③ 市民等、交通事業者、行政の協働による公共交通の利用促進								
	37	(1)三木市地域公共交通検討協議会の定期的な開催	第6回三木市地域公共交通検討協議会を開催(R元. 9. 3)					→	第3回三木市地域公共交通検討協議会を開催(H30. 6. 4) 第4回 " (H30. 12. 3) 第5回 " (H31. 3. 28)
	38	(2)公共交通を支える主役としての積極的な利用促進(市民)						→	
	39	(3)生産性向上の取組の推進(交通事業者)						→	
	40	(4)関係者間の連携強化(行政)						→	
	41	(5)公共交通に関する適切な情報提供(交通事業者・行政)						→	